

Zoom 利用におけるセキュリティポリシー

はじめに

Zoom は簡易なビデオ会議アプリです。世界中の様々な教育機関で利用されています。本学園でも生徒が使えることを検証・確認し Zoom を使ったオンライン授業を行っています。引き続き、Zoom の利便性とリスクのバランスを考慮し、安全性を確保しながら使用していきます。

対策

Zoom 利用にあたり、セキュリティ問題は軽視できません。従いまして、本校では機密情報（生徒情報ならびに、教職員情報）に対する侵害の防衛のため、Zoom 動向を継続的に注視しつつ、安全に利用するため、学園としての対策の指針を作成致しました。今後は、本校(中学校高等学校)だけでなく、初等学校、大学とも連携をとり、情報を共有し、Zoom 情勢を監視しつつ、注意して利用していきます。Zoom の利用に重大な問題があると判断した場合は、アプリケーションの利用を停止し、他のサービスに移行する考えです。

本校では以下のような運営方法により、対策を講じることとします。

1. Zoom 使用環境

- ・生徒情報が保存されている教職員コンピュータの OS 及びアプリを最新のものに保つ（教員側）
- ・生徒が Zoom を利用する場合は、iPad での利用を推奨する（生徒側）
- ・自宅の PC・携帯端末で利用する場合は、家庭で相談の上、細心の注意を心がけ、利用する（教員・生徒双方）

2. ZoomBombing(Zoom 爆撃)をはじめとする、様々な問題への対策

- ・パーソナル ID を SNS などに公表しない（教員・生徒双方）
- ・パーソナル ID の使用はなるべく避け、別途ミーティング ID を発行することを推奨する（教員・生徒双方）
- ・会議を開く際は、セキュリティキーを常にかける（教員・生徒双方）
- ・ミーティング ID とセキュリティキーは、Classroom など部外者が閲覧不可の場所に公開する（教員・生徒双方）
- ・保護者会など、止むを得ない事情を除き、待機室を有効にすることを基本とする（教員側）
- ・ユーザーの画面共有、チャットは必要な時以外は無効にしておく（教員側）
- ・プライバシー保護のため、背景など、画面に映り込むものに留意する（教員・生徒双方）
- ・Zoom のアップデートを最新のものに常に更新する（教員・生徒双方）

以上、教職員ならびに生徒に周知徹底させ、問題が起きないように安全に配慮し利用してまいります。